

大手前大学・大手前短期大学 さくら夙川キャンパス E棟

兵庫県西宮市

設計・監理/日建設計
施工/大林組



北側外観 住宅街の中のキャンパスとして、壁面を分節しヒューマンスケールな外観を形成した。既存の石垣や植栽の一部を再利用し夙川の風景や既存キャンパスの外観を継承している



西側外観 コンクリートの庇や下見板張り仕上げなど豊かな表情を持つファサード



食堂テラス 授業の合間や放課後に日常使いできる学生の居場所



南側外観 既存の起伏ある地形や豊かな緑を継承した公園のような憩いの場

創立75周年のキャンパス再編計画

“STUDY FOR LIFE (生涯にわたる、人生のための学び)”を建学の精神として掲げる大手前学園は、本年2021年に学園創立75周年を迎え「いたみ稲野キャンパス」を「さくら夙川キャンパス」へ移転・統合し大学院、大学と短期大学が共存する3716人のキャンパスへ躍進している。

E棟はその再編計画の核となる新学舎である。設計するにあたりクライアントと既存キャンパスの何を継承し刷新するか、新時代に沿った大学の在り方を議論し、単に講義室や研究室といった機能を配するだけでなく、学生・教職員・卒業生・国際交流・地域連携など多様な交流の拠点となる「キャンパスのサロン」として位置づけた。

ヒューマンスケールなキャンパスを継承する「さくら夙川キャンパス」は中心軸や権威的な象徴性をもつ西洋的なキャンパス構成とは異なり、起伏のある自然の地形に沿った石垣や豊かな緑の中に小さな風景が有機的に連続するキャンパスである。

E棟はそのキャンパスの風景を上書きするのではなく、既存の石垣・古井戸・植栽の一部を再利用しつつ住宅街のスケールに呼応するように壁面を分節化しヒューマンスケールな空間構成を連続させた。

外装は既存キャンパスにあるCELL棟(2007年竣工の図書館)のデザインコードであるコンクリート庇や出目地仕上げの壁面を引き継ぎキャンパスに一体感を与え、さらにコンク

リートの下見板張り仕上げや最新手法である特殊表面処理を採用し、職人の手仕事の跡を感じさせる味わい深いディテールを新たに加えた。脈々と受け継がれる外観と四季の変化を感じさせるランドスケープが有機的に一体化し学生たちのキャンパスライフの背景となることを意図している。

多様な交流を促進するナレッジサロン

キャンパスの近隣を流れる夙川は美しい桜並木が続く。その流れに沿って阪神間モダニズムを代表する建物や文学、サロン文化の花が開いた。E棟はそのような地域が培ってきた歴史や文化を引き継ごうと考えた。内装は「新時代のナレッジサロン」のイメージ

として懐かしさが感じられる木調の本棚や階段に加えコンクリート、ガラス、スチールなどの現代的な素材で統一した。

南北2か所にメインエントランスを設け既存キャンパスと回遊性を持たせ通り抜けられる動線を形成。既存キャンパス内に点在していた「食堂・生協・地域連携室・国際交流センター・キャリアサポート室」を1フロアに集約。講義室・ラーニングcommons・研究室はガラス張りとし学生や教職員のアクティビティが感じられようとした。それらを大階段のある吹き抜けで立体的につなぎ大小のサロン空間を散りばめることで、教育・研究および生涯学習の場として知の創造や交流を促進する。



配置図 縮尺1/2,500



庭からのやさしい光が差し込む大階段の吹抜け



抜けを中心に大きさの異なるサロンを配置し、教室やラーニングcommons、食堂とつなぐことで多様な居場所や出会いを促進する



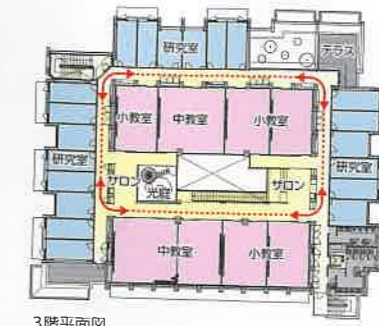
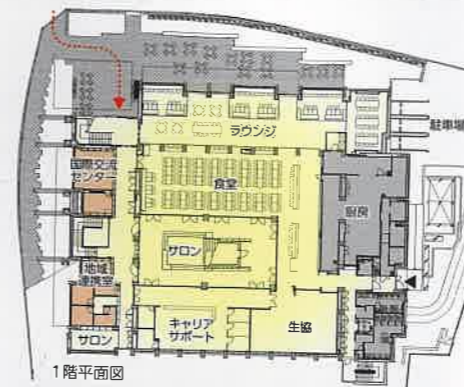
「客時に役立つ既存戸のある階段の吹抜け



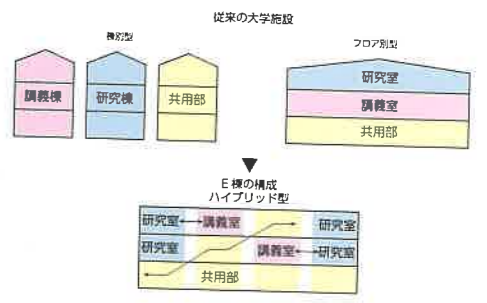
光庭を望む講義室と研究室の間にあるサロン



研究室前の廊下沿いに設けられた交流スペース



多様な交流の拠点となる仕掛け
 これまでの一般的な大学の「棟」や「階」で機能別にゾーニングするのではなく、講義室・ラーニングcommonsを中心に車座状に研究室をワンフロアで配置した。さらにその隙間の共用部に少人数から大人数まで対応できるような大小のサロン空間を立体的に散りばめ学生と教職員との距離を近づけるとともに多様な交流を促進させる。



大手前大学・大手前短期大学 さくら夙川キャンパス E棟 データ
 所在地 兵庫県西宮市御茶家所町21番外5号
 主要用途 大学



田中 公康……たなか きみやす
 1967年兵庫県生まれ。東京理科大学理工学部修士課程修了後、1992年日建設計入社。現在、同社設計部門ダイレクターアーキテクト・マネージャー



中川 卓……なかがわ たかし
 1978年兵庫県生まれ。京都工芸繊維大学大学院建築学専攻修士課程修了後、2004年日建設計入社。現在、同社設計部門アソシエイトアーキテクト



秋山 運真……あきやま はるま
 1988年愛知県生まれ。明治大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了後、2013年日建設計入社。現在、同社設計部門プロジェクトアーキテクト



村上 都……むらかみ いく
 1988年大阪府生まれ。京都工芸繊維大学大学院建築学専攻修士課程修了後、2013年日建設計入社。現在、同社設計部門プロジェクトアーキテクト

建築主 学校法人 大手前学園
設計 日建設計
担当/総括: 田中公康 建築: 中川卓、秋山運真、村上都 構造: 田代靖彦、岡田健、高遠暁子 機械: 田中宏昌、牛尾智秋、松島孝幸 電気: 小倉良友、伊藤昌明、山田幸聖、北川大輔 ランドスケープ: 小松良朗、河野孝章、平山友子、早川伸子
コスト: 島田太郎、河村晋吾、前田純代、妹尾綾香、川野博義、三浦満雄、小林忠彦、浅山洋次郎、中垣俊雄、中田茂郎 **インテリア:** 日野智之(トモデザインスタジオ)
監理 日建設計
担当/高山 真、片桐 聡、柏田敏敬、水上和哉(元所員)、藤本拓也、平川忠義
施工 大林組
担当/所長: 石井友人 工事長(建築): 広瀬政名、吉田慎一 工事長(設備): 高村幸夫
設計期間 基本設計・実施設計: 2018年4月~2019年1月
工事期間 2019年9月~2020年12月(16カ月)
【建築概要】
敷地面積 3,743.99㎡
建築面積 1,685.59㎡
延床面積 5,358.96㎡
建ぺい率 45.03% (許容60%)
容積率 142.69% (許容200%)
構造規模 RC造 地下1階、地上3階
地域地区 第一種中高層住居専用地域、法22条区域、第3種高度地区、宅地造成工事規制区域
【主な外部仕上げ】
屋根 RC下地A防水押えコンクリート、塗膜防水
外壁 RC打放し塗装、一部上ピーリング仕上げ、押出成形セメント板

建具 アルミサッシ、スチールサッシ、ステンレスサッシ
【主な内部仕上げ】
教室 床/ビニルシート 壁/石膏ボードの上EP-G塗装 天井/吸音材
ラーニングcommons 床/OAフロア、タイルカーペット 壁/石膏ボードの上EP-G塗装 天井/吸音材
研究室 床/タイルカーペット 壁/石膏ボードの上EP-G塗装 天井/岩綿吸音板

撮影/㈱エスエス 大阪支店

協力会社

電気設備工事	きん で ん
ドアエンジン	ナブテスコ
自動ドア工事	ナブコード
アルミ製建具工事	Y K K A P
鋼製建具工事	文化シヤッター
建具製造(イスターカーテン)	T O K O
建具製造(カーテン)	O S H I R O X
塗装工事	竹林塗装工業
内装工事	オクジョー
OAフロア工事	オーエム機器
黒板工事(照明付き)	青井黒板製作所
ウッドデッキ工事	昭和洋機製作所

OSHIROXでは、独自の加工技術の組み合わせで、
これまでにない世界にひとつのコンクリートの壁をつくります。

大手前大学・大手前短期大学 さくら夙川キャンパスE棟
兵庫県西宮市 2021年1月

設計/株式会社日建設計 施工/株式会社大林組

採用工法: FFP工法、ハイブリッドピーリング工法
ハイブリッドカラーコーティング工法、OXC-WAS工法
施工躯体・面積: 1500㎡



事業内容 ▶ 世界で一つの壁を作ります。: ハイブリッドピーリング工法 (ウォータージェット、特殊ビシャン、研ぎ出し) 責任施工
ハイブリッドカラーコーティング工法 (特殊塗装) 責任施工 含侵シリカコーティング剤及び、特殊塗料、特殊コーティング剤製造販売

株式会社

OSHIROX

代表取締役 牧野 宰之

<http://www.oshirox.jp>

【本社・ショールーム】

〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 TEL:06-6690-7372 FAX:06-6690-7373

【工場】

〒653-0032 兵庫県神戸市長田区苅藁通1-3-17 TEL:078-671-1641 FAX:078-671-1643